

磯城嶋金刺宮跡(桜井市)

ししまかなざしのみやあと

ここが欽明天皇の宮の跡/標柱には「磯城嶋金刺宮伝承地」とある/現在は磯城嶋公園となっている



ここが仏教が欽明天皇の時代に公式に日本に入った地と云う/当時の桜井は国際都市として栄えていた

磯城嶋金刺宮伝承地

シキシマカナサシノミヤ

磯城嶋金刺宮は、第二十九代欽明天皇が嘗んだ宮です。

日本書紀には、欽明天皇の時、百濟の聖明王から仏像や経文などが献じられ、わが国に仏教がはじめて公的に伝えられたことが記されています。

この頃、仏教の受け入れについては賛否があったので、天皇は試しに大臣の蘇我稲目に仏像を授けて礼拝させました。※
また、記紀によると、このころ大和朝廷の勢力は、任那を拠点に朝鮮半島へも広がっていたとされています。

しかし、友好関係にあった百濟の聖明王が新羅との戦いで亡くなると、新羅により任那も滅ぼされてしまいました。

欽明天皇は、任那の復興を期して新羅と戦いましたが、果たせなかつたとされています。

※仏教公伝の年については、日本書紀の記述によると西暦五百五十二年になりませんが「上宮聖徳法王帝説記」などによると西暦五百三十八年になり、後者が有力な説とされています。

記紀万葉の物語（欽明天皇の条）

百濟の聖明王
仏教の公伝
任那の滅亡

さまざまな標柱等がある



左から柿本人麻呂歌碑/仏教公傳の碑/欽明天皇磯城嶋金刺宮跡址碑/磯城邑傳稱地碑



欽明天皇磯城嶋金刺宮

(推定地)

初瀬川と粟原川に挟まれた地域は、かつて磯城嶋と呼ばれ、古くは室町時代に法隆寺僧訓海が著した『太子伝玉林抄』、元文元年(一七六三)の並河永らによる『大和志』、大正三年の大神神社宮司齋藤美澄による『大和志料』により、この地域に金刺宮があったものと推定されている。『太子伝玉林抄』によると、室町時代には金刺宮の内裏跡は、現在地より東北約百メートルにある字垣ノ内一帯にあったとの伝承が、既に存在していたようだ。

桜井市教育委員会

振り返って磯城嶋公園を見たところ



公園の脇を流れる大和川の支流、初瀬川/この河川を利用して仏教を伝えに百済の一行が来たのであろうか/手前に石碑がある





濟瀦川速見旱瀦

結上而不飽八妹塔

問師公羽裳

参考ホームページ

<http://www.city.sakurai.lg.jp/kanko/rekishi/kashiramoji/sagyo/1395277607559.html>

<https://sakurai-kankou.iimdo.com/%E5%90%8D%E6%89%80/%E5%B1%B1%E3%81%AE%E8%BE%BA%E3%81%AE%E9%81%93%E5%91%A8%E8%BE%BA/%E7%A3%AF%E5%9F%8E%E5%B6%8B%E9%87%91%E5%88%BA%E5%AE%E8%B7%A1/>

<https://www.begin.or.jp/~munakata/kinnmeitennou.html>

<https://ryobo.fromnara.com/palace/p029-1.html>

https://blogs.yahoo.co.jp/van1123jp/35659656.html?_vsp=56Ov5Z%2BO5baL6YeR5Yi65a6u6Leh77yI5aGc5LqV5biC77yJ

<http://sakuwa.com/ya2-1.html>

<http://yamatojiblog.blog.fc2.com/blog-category-292.html>

